



風立ちぬ

つよく かしこく あたたく
立川中学校通信
第11号
令和2年1月14日(火)発行

新年の始まり 未来への夢を抱き確実な一歩を

あけましておめでとうございます。新しい年の抱負と未来への夢を抱き、確実な一歩を踏み出して欲しいと思います。

2学期の終業式と3学期の始業式において、「立中生にとって、未来を切り拓く力とは何か」についてスライドを使って話をしました。ここにその要旨を掲載します。

社会の課題はあるが、未来は明るい (2学期終業式の話)

環境問題、自然災害、少子高齢化、都市集中と過疎化など、社会の課題はありますが、物と情報がインターネットと繋がることで生活は便利になり、AIがビッグデータを解析し新たな知恵を生み、様々な課題が解決できる社会になります。この社会変革が「Society5.0」です。今後10年で社会は大きく変化していきます。そこで必要とされるのは、AIや情報を使いこなす力を身につけること (AIに振り回されない)、AIに代替されない力 (人間力や創造力) を身につけることが求められます。



「Society5.0」 解決 技術革新 AI ビッグデータ

求められること

AIに振り回されず、使いこなす。

単なる消費者として生きるのではなく、自分の未来を自ら切り拓く。

2030年までの未来予測

ゴシック体は教育関連予定

| 令和2年 2020 | 令和3年 2021 | 令和4年 2022 | 令和5年 2023 | 令和6年 2024 | 令和7年 2025 | 令和8年 2026 | 令和9年 2027 | 令和10年 2028 | 令和11年 2029 | 令和12年 2030 |
|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|-----------------|------------------|--------------------|--------------------|----------------------|------------------------|----------------------------|
| 小学校で新学習指導要領実施 | 中学校で新学習指導要領実施 | 成人年齢18歳に引き下げられる | 庄内総合高校に定時制と通信制が新設 | 北京で冬季オリンピックが開催 | 高度1000キロの宇宙旅行が実現 | スマートスピーカー普及率4割 | 生体認証の普及によりパスワードが不要 | インドの人口が中国を超え世界一 | 遠隔地医療システムが実用化する | 国内総発電量に占める再生可能エネルギーの割合が約4割 |
| GIGAスクールネットワーク構想 | ドイツの原子力発電所稼働停止予定 | 山形県開発サクラノボ新品種本格販売 | 電気自動車100万台販売予定 | 新紙幣発行 | 一般道自動運転車の商品化 | サクラダファミリア完成予定 | リニア中央新幹線東京-名古屋間が開業 | フランスで500万kw洋上風力発電が稼働 | 地球の平均気温が産業革命前より1.5℃上昇 | 年間10兆円の経済効果と40万人の雇用を生む |
| 東京オリンピック・パラリンピック開催 | 中学校で新学習指導要領実施 | 庄内総合高校に定時制と通信制が新設 | 北京で冬季オリンピックが開催 | 鶴南と鶴北統合し中高一貫校開校 | 高度1000キロの宇宙旅行が実現 | 生体認証の普及によりパスワードが不要 | インドの人口が中国を超え世界一 | 東京が人口世界一をニューデリーに譲る | 直径335mの小惑星が地球から3万kmを通過 | |
| 小学校で新学習指導要領実施 | 中学校で新学習指導要領実施 | 成人年齢18歳に引き下げられる | 庄内総合高校に定時制と通信制が新設 | 北京で冬季オリンピックが開催 | 電気自動車100万台販売予定 | サクラダファミリア完成予定 | リニア中央新幹線東京-名古屋間が開業 | フランスで500万kw洋上風力発電が稼働 | 地球の平均気温が産業革命前より1.5℃上昇 | |

プログラミング教育
教科英語3年生から

学校の無線LAN整備と1人1台端末

現中学3年生が18歳のとき

現小学2年生が中学になるとき

ITの発達と潤沢な資金により150年早く



国立競技場



自動運転車



洋上風力発電



北極海のホッキョクグマ

内閣府、文科省、山形県等のHPを基に作成

立中で育む未来を切り拓く力 (3学期始業式の話)

昨年秋から、立川中学校の全職員で「立中学生にとっての未来を切り拓く力」について議論をしてきました。この結果をもとに、これからの立中の教育課程を編成して行きます。



職員ワークショップ「立中学生にとって未来を切り拓く力とは」

立中で育む未来を切り拓く力

人として大切なこと (基本的な知徳体)

- ・基礎基本の学力
- ・善悪の判断
- ・思いやり
- ・健康とたくましさ
- ・危険回避能力

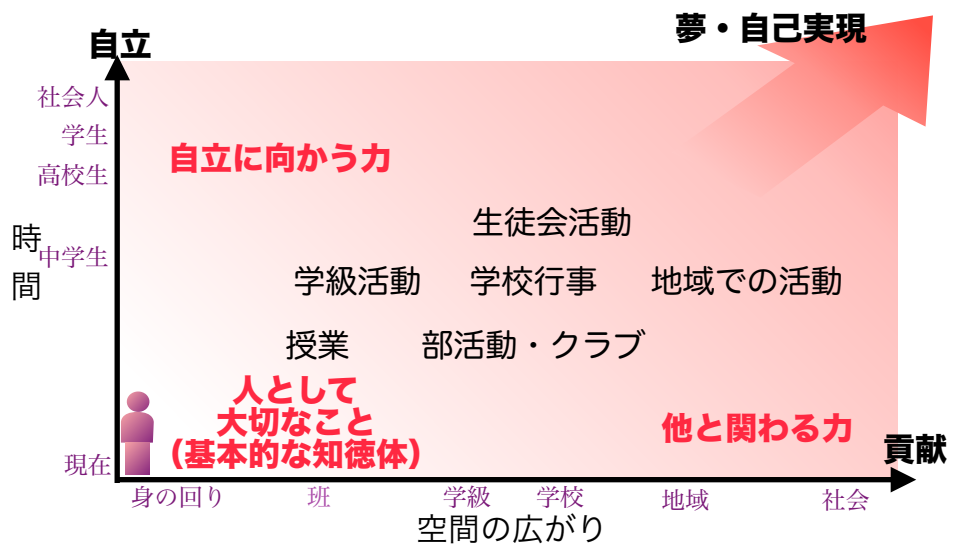
自立に向かう力

- ・自己管理能力
- ・発想力・計画力
- ・創造力
- ・情報を選択し、活用する力
- ・自分の考えを持つこと

他と関わる力

- ・コミュニケーション力
- ・地域や社会と関わる力
- ・協調性
- ・対立やジレンマを克服する力

立中で育む未来を切り拓く力は、「人として大切なこと」「自立に向かう力」「他と関わる力」の3つにまとめられます。この力を教育活動全体で育てて行きます。ワークショップでは「どのように育むか」についても話しあい、自己管理能力を育む方法の1つが以下に示す「手帳の取り組み」です。



時間—空間グラフにおける未来を切り拓く力

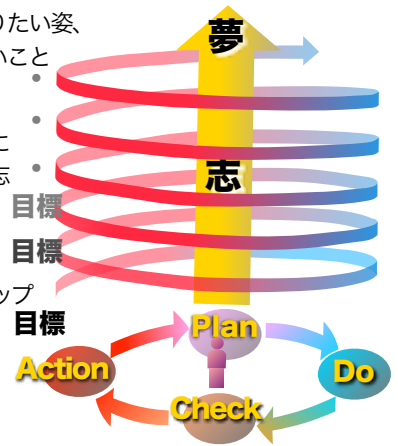
「手帳の取り組み」を始めました

目的は、『計画→実行・記録→振り返り→改善』を繰り返し、自己管理能力を育むためです。自律的に生活することで、少しでも目標に近づき、夢を実現して欲しいと思います。

使い方は、携帯しメモ帳として、連絡事項や忘れてはならないことをメモします。また、生活記録として、起床・学習時間・メディアの時間・就寝時間を記録します。毎週金曜日の帰りの会で、翌週の時間割・部クラブ・家庭学習の予定を記入することで、見通しを持ち計画的に生活します。



- 夢：将来自分がなりたい姿、自分がやりたいこと
- 志：夢・自己実現に向かう強い意志
- 目標：夢へのスモールステップ
- P：計画
- D：実行・記録
- C：振り返り
- A：改善



PDCA サイクルを回し、夢を実現させるイメージ図